

高校名	行事名	場所	期日	参加者数				共有すべき報告事項
				生徒	引率	アドバイザー	合計	
宇都宮高校	白根山登山	日光白根山	2021年7月25日(日)	12	4	2	9+9	・歩き始めのペースが速すぎると、疲労が蓄積しやすくなり、後半特に下山時の事故が多くなるため、ペース配分を考慮して歩くべき。 ・若さや体力を過信しすぎない。
	那須岳登山	那須岳	2021年10月17日(日)	5	2	1	8	・現地の風雨状況からルート短縮を決定、安全に実施。
	赤蘆山登山	赤蘆山	2021年11月7日(日)	6	3	1	10	
宇都宮白根高校	古賀志山登山①	古賀志山	2021年5月5日(水)	2	2	1	5	・伏探作業で通行できない箇所があったが、エスケープコースの舗装道に沿って下山した。 ・転倒、滑落のリスクが高い所は引率者の連携を図り通らせた。
	古賀志山登山②	古賀志山	2021年5月29日(土)	6	2	1	9	・当初は5月2日に予定していたが、前日に雷雨となる危険性が高まったため、代替日に変更した。 ・当日の最高気温が29℃との予報があり、開始前に水分と塩分や糖分の補給を行い、こまめに小休止した。
	夏山登山①	鳴虫山	2021年7月18日(日)	4	2	1	7	・根が斜面全体を覆っているところや急勾配、鎖場なども足下をよく確認することや安全確保を意識しながら通過した。
	夏山登山②	鳴虫山	2021年7月22日(日)	2	2	1	5	・副顧問が初めての引率だったため、こまめに休息を取り、水分補給も行った。
	古賀志山登山③	古賀志山	2021年7月24日(土)	6	2	1	9	・最高気温が30℃を超えるとの予報があり、集合前に水分を500mL飲むことを指示した。 ・山行中は水分を2L以上携行し、こまめに補給させ、実際に飲んでいるかを確認した。
	秋山登山①	朝日岳・茶臼岳	2021年10月23日(土)	6	2	1	9	・現着した際、みぞれが降っていた。雨雲レーダーでは通過すると思われ、駅内で天気の回復を待った。 ・事前の下見を実施していたため、行動中は常にその先の登山道を想像することができた。
	秋山登山②	赤蘆山	2021年10月30日(土)	5	2	1	8	・登山道は霜解けの影響でぬかるんでいるところがあり、転倒しないよう注意喚起をした。 ・ゆったりとしたペースでの進行を心掛け、体力の問題もなく、予定通りのタイムだった。
栃木高校	太平山登山	太平山	2021年5月2日(日)	3	2	1	6	・急勾配のところがあり、注意喚起をした。 ・猪が土を掘り起こした箇所があった。遭遇しないように、クマよけの鈴を持参するなど工夫した方がよい。
	古賀志山登山	古賀志山	2021年6月5日(土)	4	2	1	7	・前日雨でぬかるみが多く、また、沢の水が一部コースにあふれていたため、滑らないようにゆっくり歩いた。
	刈込湖・切込湖・山王峠登山	刈込湖・切込湖・山王峠	2021年10月23日(土)	4	2	1	7	・降雪のため中止。
	赤蘆山登山	赤蘆山	2021年11月10日(土)	1	2	1	4	
栃木女子高校	新緑トレーニング登山I	鳴虫山	2021年5月4日(火)	12	4	2	9+9	
	三年引退登山	朝日岳・三本槍岳・茶臼岳	2021年7月23日(金)	12	5	2	10+9	・当日午後から天気が崩れると前日に予想でき、管理職や参加者全員と相談し、ルートを短縮した。 ・予想通り雲が湧き、速くで雷鳴が聞こえたため、参加者全員で相談し、ルートをさらに短縮した。
	秋山登山	霧降高原丸山・隠れ三滝	2021年10月31日(日)	11	5	2	9+9	・下山途中、アドバイザーから先の登山道の荒れを聞き、参加者全員で相談し、階段ルートに変更した。 ・アドバイザーからヤマビル情報を得て、皆で忌避スプレーをかけ合った。
	新入部員歓迎登山	霧降高原丸山・隠れ三滝	2021年11月7日(日)	9	4	2	8+7	
	登り納め登山	筑波山	2021年12月12日(日)	12	4	2	9+9	・昼食を各自とっているときに地震が発生した。落石等周囲の状況に注意しながら下山した。 ・予定より1時間遅れ、日陰は寒かったため、全員で相談し、活動中止後バスで帰路についた。
大田原高校	新入生歓迎山行	御亭山	2021年4月24日(土)	7	2	1	10	・1年生は登山道に近い舗装道路を歩くトレーニングを行った(引率1名とO B2名が帯同)。 ・心臓検診で要精検の生徒があり、山行中パルスオキシメーターで体調観察を行った。
	春山山行	八清山	2021年5月8日(土)	7	2	1	10	・1年生は登山道に近い舗装道路を歩くトレーニングを行った(引率1名とO B2名が帯同)。 ・荷物は紫外線による劣化防止のためにもザック内にまとも、体に密着させると疲れにくい助言があった。
	夏山山行①	黒尾谷岳・南月山・白笹山	2021年6月19日(土)	6	2	1	9	・雨天が予想され、危険予測や対策を入念に行い、落雷や地盤の緩みといった中止判断基準を共有した。 ・高湿度の中、大量の汗で体温は低くなったが、着替えると格段に温くなった。 ・無線機は障害物なしの場合10kmでも連絡可能で、離れた班とやりとりし、一方が携帯電話圏外でも他方から携帯を使って外部への連絡が可能だった。
	1年生夏山山行	朝日岳	2021年7月4日(日)	6	2	1	9	・昼過ぎに雨の予報で、アドバイザーと協議後、計画変更を行い、ルートを短縮して往復することにした。 ・無線機は近くでも障害物があるとつながらなかった。
	夏山山行②	日光白根山	2021年7月22日(木)	7	2	1	10	・速くで落雷を確認し、アドバイザーと相談の上、昼食を後にしてすぐに下山することにした。 ・平地よりも熱中症リスクは小さいが、夏場であっても雨などによる寒さのリスクは大きい。
	秋山山行	日留賀岳	2021年11月6日(土)	6	2	1	9	・山行中の写真やビデオ映像は山行の度に保護者に示している。 ・30分早くOB隊が登山を開始し、熊よけなど生徒の安全を確保した。

- ・コロナ禍の中でもできる限り登山活動を行うことができ、部員たちは安全登山に向けて、主体的に自己研鑽を続け、探究心を高めることができた。
- ・部員数に対して顧問数が少なく、部員にとっては1月1回の登山活動が困難である。 → 生徒にとって2月に1回の登山活動はできるように計画する。顧問数を4人は確保してもらおう。
- ・1パーティ10名(生徒は7名)という新型コロナウイルス感染対策の決まりの中、工夫をしながら部員のモチベーションが下がらないよう山行を計画することができた。
- ・今後も人数制限が続いたり、山行が停止されるなどあっても、山行の他に山岳部らしい特色のある行事を模索したい。
- ・今年は山行時に気温、WBGT、SP02、風力、照度、音などの計測を行った。今後、これらのデータを整理し、安全登山につなげたい。